

令和7年度 第2回学校評価のご報告

花の小さな蕾に春の訪れを感じるこの頃です。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。1・2月に実施した「学校評価保護者アンケート」「元町っ子アンケート(子ども)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下に、ご報告させていただきます。

学校教育目標

自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成

～進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める元町っ子～

目指す子ども像

「も」もっと学びたいと思える子ども

「と」ともだちを大切にできる子ども

「ま」まいにち笑顔で過ごせる子ども

「ち」ちゃんと目を見て考えて話せる子ども

概要

本校では、「自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成」という学校教育目標を受け、今年度は、『「対話力」「問題解決力」を高める授業の構築』を研究主題としてあげて教育活動を進めてきました。昨年度から引き続き「対話力」「問題解決力」に重点を置きながら、今年度は特に、子どもたちが、「話したい」「問題を解決したい」というように意欲的に取り組めるような授業展開の工夫に取り組んでまいりました。

子ども対象の「元町っ子アンケート」は、今回も全学年オンラインで回答しました。多くの項目で80%以上が「できている」と答えています。さらに、今回は、90%以上の肯定的な項目も増えてきました。アンケートを通して、自分の行動をふり返り、前向きに取り組むことができていると認識できる機会となったのではないのでしょうか。

保護者アンケートは、回収率が77%でした。1回目よりも回収率が上がりました。今年も、昨年度同様アンケートをお願いする時期を1月末から2月中旬としたことで、学校行事など全体を見通して答えていただけたのではないかと思います。今後とも学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合っ子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思ひます。

「教職員自己評価」についても、多くの項目で実現度は80%以上でしたが、実現度が低い項目もありました。全教職員が同じ姿勢で学校教育目標の具現化に取り組んでいきたいと思ひます。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後も皆様のご協力をいただきながら、一人一人の子どもを大切にしたいと思ひます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

○学校評価(子ども・保護者・教職員)の結果

実現度は『よくできている』『だいたいできている』を合わせた数値

		質問項目	子ども実現度		保護者実現度		教職員実現度	
			R7①	R7②	R7①	R7②	R7①	R7②
学校生活	1	学校で楽しく過ごす	95%	99%	94%	93%	100%	95↓
	2	進んであいさつをする	93	95	86	87	93	88↓
	3	夢や目標に向かってチャレンジしようとしている	85	79↓	83	79	93	94
(確かな学力) もっと学びたいと思える子ども	1	授業中に学習のルールを守る	87	95↑			100	100
	2	授業や帯時間の学習に集中して取り組む	86	87	84	86	92	97↑
	3	家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	85	92↑	75	78	82	92↑↑
	4	本をよく読む	73	72			75	78
(豊かな心) ともだちを大切にできる子ども	1	誰とでも仲良くする	91	90	97	94	100	87↓↓
	2	相手の思いや考えをよく聞こうとする	96	92	94	88↓	100	94↓
	3	相手の気持ちを考えて行動する	95	93	95	88↓	100	94↓
	4	たてわり活動を楽しんでいる。	92	93	92	97↑	85	80↓
(健やかな体) まいにち笑顔で過ごせる子ども	1	自分のことを好きでいる。(児) 子どもの良さを認めている。(保・教)	69	73	89	93	100	94↓
	2	自分の体や心を大切にする	95	90↓	100	99	86	100↑↑
	3	生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	91	87	89	87	77	93↑↑
	4	進んで外遊びや運動をする	84	80	79	74↓	77	73
	5	安全に気を付けて過ごす	97	99	94	97	92	88
(学校独自の取組) ちゃんと目を見て考えて話せる子ども	1	興味をもって学習に取り組んでいる	79	84↑			100	100
	2	友だちと話すことで考えを深めている	86	91↑			93	93
	3	課題や問題に自分から進んで取り組む	79	85↑			93	93
	4	タブレットを活用する	100	98	89	95↑	86	86

主な成果と課題

<学校生活>

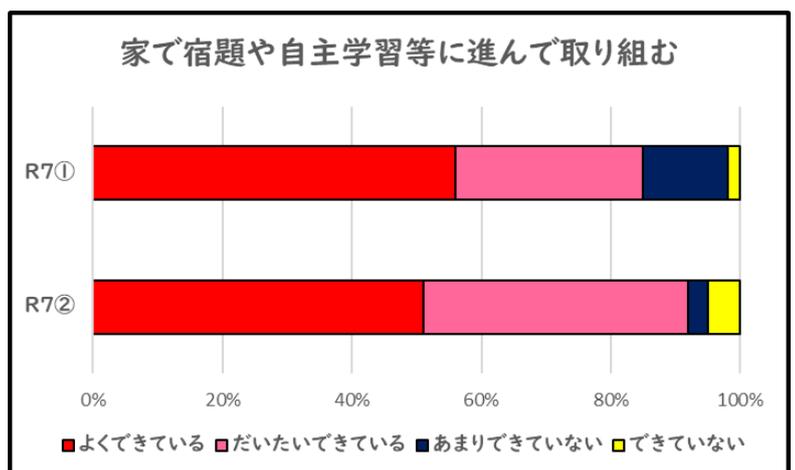
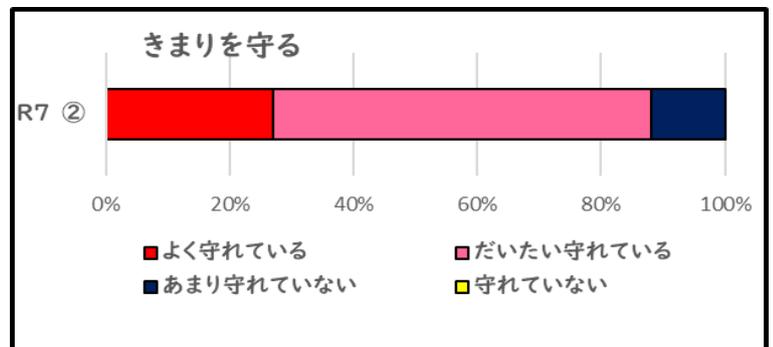
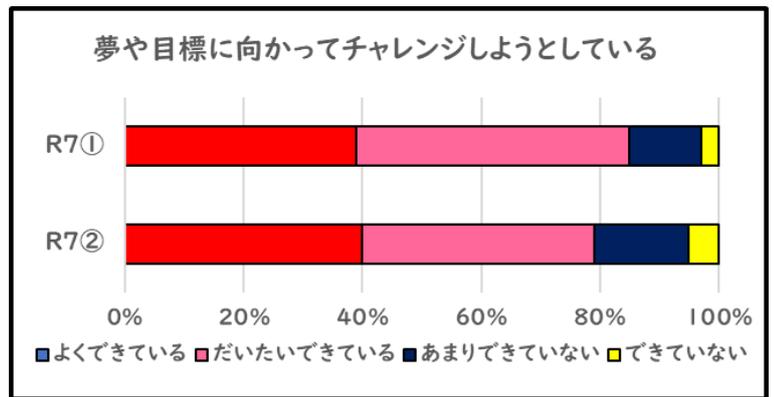
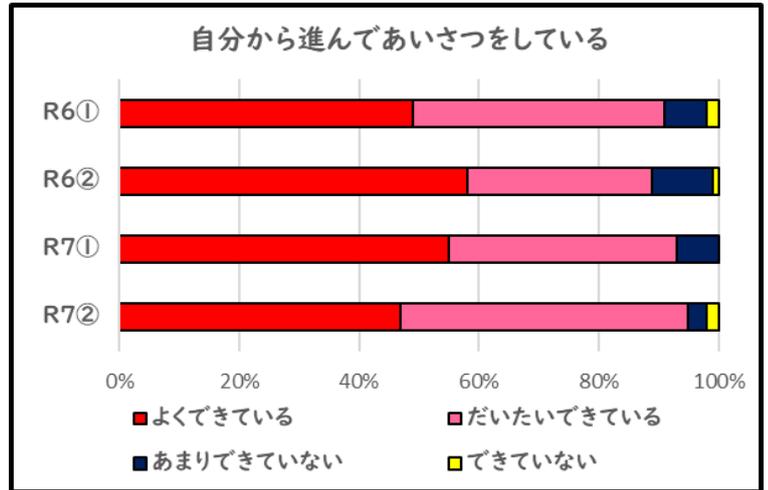
登校の時に、子どもたちは毎日元気よく挨拶をしています。アンケートの結果からも、子どもたちの実現度は昨年度、前回よりも上がっています。しかし、知っている人、良く関わっている教職員には、挨拶をするけれども、あまり関わっていない教職員や地域の人への挨拶はできていないこともあります。誰に対しても気持ちの良い挨拶ができているかという点では課題が残ります。大人が子どもの見本となるように進んで挨拶することも大切でとなってきます。教職員も積極的に挨拶をし、みんなで、気持ちよく学校生活を送っていければと思います。

「夢や目標に向かってチャレンジしようとしている」において、チャレンジしていると回答した児童は79%と、前回よりも少し下がる結果となりました。学年末も間近に迫り、前向きに考えることが少なくなっているのではないのでしょうか。できていないところにばかりを意識してしまうのではなく、できたこと、自分が頑張ったことにも目を向けていってほしいと思います。

今回、「きまりを守る」という項目を新たに追加しました。代表委員会では、子どもたちで学校の決まりについて見直しています。それぞれの学年からも、もっとこうしたらいいのではという意見も上がってきています。どうしてきまりがあるのかを考え、まずは今あるきまりをきちんと守ることが大切です。その上で、さらに学校生活をよくするようにきまりについて改善できればと思います。

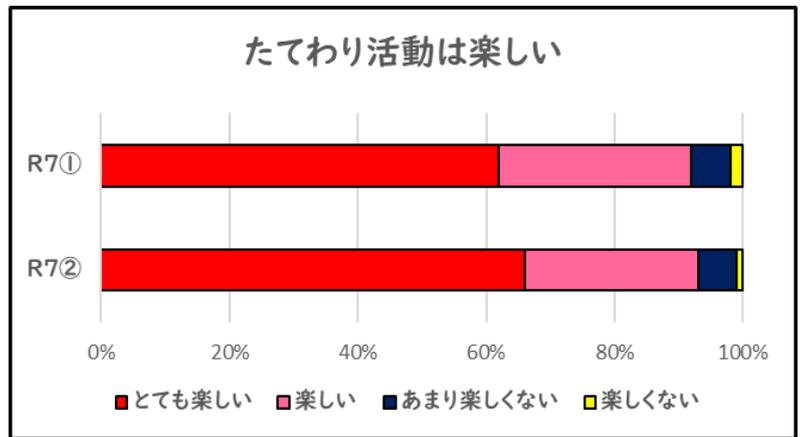
<もっと学びたいと思える子ども>

全体的に少し上がる結果となりました。特に「家で宿題や自主学習等に進んで取り組んでいる」と回答した子どもは92%と、前回よりも7%も上がる結果となりました。漢字テストがあれば、自主学習やプリントなどで意欲的に取り組む子どもたちの様子が見受けられます。意欲的に取り組んだことで、良い結果が出たり、学習内容の理解が深まったりしています。中学校に向けても、自学自習の習慣は大切な要素となってきます。学校だけでなく、自分から進んで学習する習慣をつけられるよう今後も取組を続けていきます。お家でも子どもたちの頑張りを応援していただければと思います。



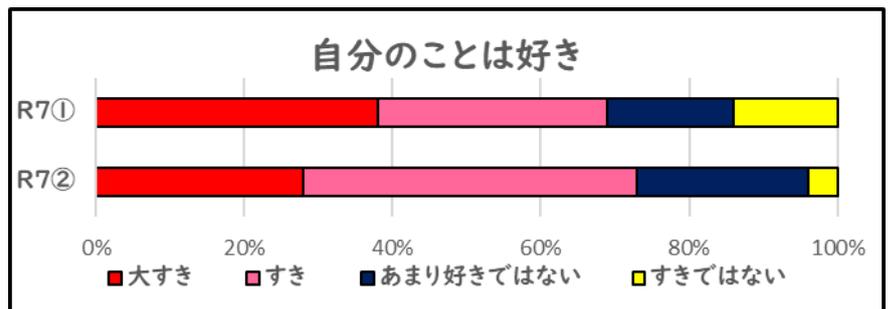
<ともだちを大切にできる子ども>

「たてわり活動は楽しい」と回答した子どもは前回とほぼ同じぐらいでしたが、「とても楽しい」と回答した割合は上がりました。たてわり遠足、たてわり遊び、たてわり掃除などの活動を1年間通して、子どもたちは、異学年との交流のよさを感じているようです。異学年と交流することで、高学年は下級生たちを引っ張っていかねばなりません。そこで、高学年の自主性が育っていきと考えています。今後も、たてわり活動を積極的に行い、様々な子どもたち同士の関りを築いていければと思います。



<まいにち笑顔で過ごせる子ども>

「自分のことは好き」と回答している児童が前回よりも増えました。「好きではない」と回答している子どもも減りました。子どもたちは、少しずつ自分の価値を感じられるようになってきたのではないかと思います。高学年になるにつれて、肯定的な回答が減ってくる傾向があります。それは、自身を客観的に見ることができるようになり、理想像と比較し、自信を無くすことも出てくるからでしょう。しかし、前向きに取り組んだ姿勢や努力をしたことは、自分自身の力となります。学校の色々な取組に積極的に挑戦し、自身を高めていってほしいと思います。

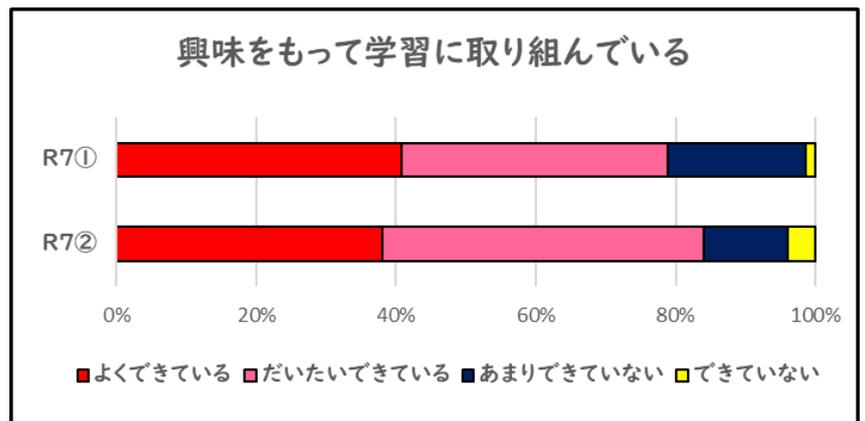


「自分の体や心を大切にする」「生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける」の項目は、少し下がる結果となりました。ユーチューブやゲームを長時間行ってしまい、生活習慣が乱れることもあります。規則正しい生活をして、毎日健康に過ごしてほしいと思います。

「自分の体や心を大切にする」「生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける」の項目は、少し下がる結果となりました。ユーチューブやゲームを長時間行ってしまい、生活習慣が乱れることもあります。規則正しい生活をして、毎日健康に過ごしてほしいと思います。

<学校独自の取組(子ども)>

「興味をもって学習に取り組んでいる」の実現度が前回よりも上がりました。今年度、子どもが意欲をもって学習に取り組めるような授業展開を工夫する研究を行ってきた成果もあるかと思います。今後も、子どもたちの思いを大切に、その思いを組んだ学習展開を考え実践していきたいと思います。



自由記述について

■学校費用について

- ・図工などの準備物が多い。買わないとないようなものは、学校でまとめて買ってほしい。準備物を短期間で調達することが厳しい。
- 図工などの材料集めでは、ご協力いただきありがとうございます。学習に使う物を再度見直していきたいと思います。ご家庭で用意していただくものは、準備期間を長く設け、負担があまりかからないような方法を検討していきたいと思います。

■学校行事など学校に対して

- ・たてわり活動の中で、学ぶことが多い。低学年を思いやる気持ちや、高学年のリーダーシップを見て刺激をもらったりしていると思う。たまに意見がぶつかることもあるようだが、折り合いをつけることも覚えた。
→異学年との交流は、学ぶことも多いと思います。来年度もたてわり活動を活発にしていくために検討していきます。
- ・人数が少ないので体育の授業などでチームプレーが出来ません。一つ下の学年と今年はさせてもらっているが、去年の様に同学年、他の学校の子とプレーすることが今年はなかった。移動も大変だが、同学年と切磋琢磨、運動に取り組んで欲しいと思っている。
→昨年に引き続き、3月に紫竹小学校と「ボールけりゲーム」の学習で交流を行いました。子どもたちが楽しく学習に迎えるよう検討していきたいと思います。
- ・外遊びが大切と言いつつ、係活動で中間休みや昼休みに外に行けないと聞いている。休み時間は外遊びできるようにすべきではないか。
→外遊びはもちろん体を動かす健康づくりにとって大切な活動です。また、係活動なども自主活動を育む大切な活動です。どの活動も学校生活にとって大切となってきますので、一つの活動に偏らないようにしていきたいと思います。
- ・宿題にタブレットを使うことがあるのに、休み中の健康観察にタブレットやテレビを見ないことが良いとされているので矛盾している。
→タブレットの活用も効果的な面ももちろんあります。ただ、長時間使うことには健康に支障が出てきます。子どもたちが、適切に使うことができるように学校でも情報モラル教育などを通して伝えていきたいです。
- ・学習面、生活面、人間関係などきめ細かく見てくださっていると感謝している。

学校運営協議会より

今回の学校評価アンケートの結果については、学校運営協議会にて、理事の皆様からご意見を頂戴しました。

- 土曜塾、学校の学習(総合的な学習の時間など)で、地域としても協力できることはしたいので、予定を早めに立ていただけると、協力しやすくなる。
- 家では、ゲームをしている時間が長い子どももいる。そのような中、放課後まなびの時間に、かぎ編みや工作などをする事で、いろいろな体験ができ、子どもたちにとって豊かな学びとなっていたのではないだろうか。
- 挨拶ができる子どもとできない子どもは、はっきり決まっている。「ってきます」「行ってらっしゃい」という丁寧に挨拶をしてくれる子どももいる。家庭でのしつけもあるのではないか。
- 朝の挨拶に関しては、朝の子どもの気分が挨拶にも影響が出てくるのではないか。朝ごはんをしっかり食べる、しっかりと睡眠をとることも大切ではないだろうか。

いただいたご意見をもとに、今後とも、学校と家庭と地域が同じ姿勢で子どもたちを育てていきたいと思っております。